

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月21日		記入者	連絡先	5669
部 名	保健所	課 名	中央保健センター	課長名	鈴木豊子
事務事業名	健康度評価事業				
予算上の事務事業名	健康度評価事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		12210		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます				
基本施策名	第2節 市民健康づくりの推進				事業開始年度
施策名	第1施策 自ら行う健康づくり				平成16年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
老人保健法					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	保健医療計画		個人社会地域社会が一体となった生涯にわたる健康づくりを推進するもの。		
計画年次	14	年度～	22	年度	
4 事業形態の区分	サービス提供		▼		
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
<p>高齢社会を迎え、健康で生活できる期間 (健康寿命) の延長へと人々の願望が高まり、保健事業として従来の疾病の早期発見・早期治療という二次予防だけではなく、生活習慣病や要介護状態にならないように事前に予防する一次予防が重要とされる。</p> <p>本事業では、生活習慣質問票に回答することで、現病歴、生活習慣、要介護となる危険度等を総合的に把握し、生活習慣病予防 (A票)・要介護状態の予防 (B票) のための、生活改善のアドバイス、適切な保健・福祉サービスの紹介を行い、個々の健康増進の意識を高めることを目的とする。</p>			<p>A票:基本健康診査受診者のうち、保健師要指導の者、総合判定異常なし・要指導者の一部</p> <p>B票:当該年度70歳で基本健診未受診者</p>		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
<p>A票 (生活習慣病予防) 平成17年度実績:質問票発送数1578件 返送数 (アドバイス票発送数) 790人 (50.1%)</p> <p>毎月実施。基本健康診査受診者のうち、該当する者に、生活習慣質問票 (A票) を送付し、回答のあった者に「生活習慣アドバイス票」等、その方にあった生活習慣改善のアドバイス、病態と生活習慣から判定された市の保健事業の案内を送付する。</p> <p>B票 (生活機能低下予防) 平成17年度実績: 発送数6014件 返送数 (結果発送数) 4314件 指導対象者2070人</p> <p>当該年度70歳になる者に、年3回に分けて生活習慣質問票 (B票) を送付し、回答のあった者に要介護状態の予防のための個人別アドバイスと適する事業の案内文を送付する。また、生活習慣分析結果から、生活機能低下等の危険がある者に対しては、保健師・栄養士が連絡をとり指導を行う。</p>					
6 関連・類似事業や他市の状況					
介護予防 (B票) については、対象者に個別通知するとの、公平・網羅的で積極的な介入は他市に例がない。					
7 事業費の推移 <span style="float:right">〔単位:千円〕</span>					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	5,246	4,318	5,346	2,762	0
一般財源	4,990	1,442	2,020	1,762	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	256	2,876	3,326	1,000	0
人件費の合計	0	9,270	8,998	8,704	0
事業コスト合計	5,246	13,588	14,344	11,466	0
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	健康度評価事業			対象名称 と単位	送付及び返送件数 (件)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	5,246	13,588	14,344	11,466	0
対象数	0	6,771	7,592	5,176	0
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	2,007	1,889	2,215	#DIV/0!
前年度比		#DIV/0!	0.94	1.17	#DIV/0!

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	返送率（%）	指標式と指標の説明	返送数/対象数*100（A・B票平均） 質問票を送付した人から返送のあった割合		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	0.0	58.7	60.9		
目標	0.0	80.0	80.0	80.0	80.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	73.4	76.1		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	事業参加率（%）	指標式と指標の説明	推奨事業参加者/返送数*100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	0.0	8.3	11.3		
目標	0.0	15.0	15.0	10.0	10.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	55.3	75.3		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		健康寿命の延伸を図るために必要な事業である。生活習慣病の予防、加齢や廃用症候群による機能低下を知り、自己実現を図るため、健康生活の実践を支援する。16年度開始した事業であり、評価を行いより効果的な事業となるよう検討していく。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
<共通> ・返送率向上のため、質問紙等の見易さに努める ・介護予防・生活習慣病予防の普及啓発をし、市民の自己管理意欲、予防意識を高める <B票> ・結果に応じた各種サービス等事後指導の再検討			①介護予防の普及啓発の不足。対象者の関心を高める方法。 ②対象者が各種保健事業の参加意欲を高める方法の検討。 ③対象者が生活改善を地域で継続するための地域資源の開発や発掘サポートなどの必要性。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		効果的な事業実施方法について検討する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			